

本書の使い方

1章

心電図の読み方はこれだけ！

短時間で見落としなく心電図を読むための10ステップ判読法を紹介

2章

全40問の心電図トレーニング

実際の心電図を10ステップ判読法で読んでいきましょう

心電図は見開きで提示

10ステップに沿って判読書き込んでもOK!

判読結果や解説は次の見開きで

判読過程とそこからの診断を解説

1章に載っていなかったよくわからないなど、2章でつまずいたら...

各ステップどこを見て判読したか

2章 心電図トレーニング
一問ずつに読んでいけばなんとかなる

01
75歳女性、糖尿病歴の心電図で心筋梗塞の疑いを感じられた。症状なし。

判読の10ステップ

- P 心臓 300 150 100 75 60 50 40 30 不明 不明
- PR 正常 正常 正常 正常
- QRS 正常 V1 1) 正常(振幅、埋込み)
- ST 正常 右胸導線(2,3,4,5,6) 正常(振幅)
- QT 正常 3-5mm PQ 正常(<30ms) 正常
- QTc 正常 正常 正常 正常
- ST 正常 正常 正常 正常
- QT 正常 正常 正常 正常
- QTc 正常 正常

判読結果

数: 300 150 100 P: 50 43 30 不明 不明
上壁: 正常 下壁: 正常

判定: VI 4-5 心筋梗塞の疑いあり(診断は医師による)

● P 正常 心筋梗塞の疑いあり(診断は医師による)

● QRS 正常 V1 1) 正常(振幅、埋込み)

● ST 正常 右胸導線(2,3,4,5,6) 正常(振幅)

● QT 正常 3-5mm PQ 正常(<30ms) 正常

● QTc 正常 正常 正常 正常

● ST 正常 正常 正常 正常

● QT 正常 正常 正常 正常

● QTc 正常 正常

ここをチェック!

1. P波の存在 2. P波の位置 3. P波の形状 4. P-R-Tの順序 5. P-R-Tの時間 6. P-R-Tの振幅 7. P-R-Tの向き 8. P-R-Tの持続時間 9. P-R-Tの速度 10. P-R-Tの方向

亜急性性側壁心筋梗塞の疑い 右輪偏位

● 心電図所見
異常心筋梗塞があったことを示すのが代位。そして、心筋梗塞の部位は、ST上昇の部位と一致。図2は診断結果と合わせて読んでください。aVLの異常Qといふ、6の胸導線から異常性側壁心筋梗塞が疑われ、Q波、●●部、左胸導線が際立った心筋梗塞を以前に発症したと考えられる心電図です。こんな心電図で心筋梗塞の診断に悩んだら、必ず、6の胸導線をよく読んでください。

3章

読み方のコツやポイントをもう少し詳しく解説
似たような波形の鑑別も